

## ○選択領域

講習番号	選一6
講習名	これからの「国語教育」について考えてみましょう～古典（古文・漢文）は必要？ 「国語表現」における実践・育成するべき資質と能力とは？
日程・時間	8月5日（水） 9：15～16：45
時間数	6時間
受講料	6,000円
担当講師	大島 薫
募集人員	60人
概要	<p>新学習指導要領によって「国語科」に転機が訪れようとしている。本講座では、現場において培われてきた授業内容と実践方法とが、新しい「国語科」にどのように接続していくのか、そして、どのような変更を求められていくのか、以下の3点について考えていく。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①「言葉による見方・考え方を働かせる」教育（「話すこと・聞くこと・書くこと・読むこと」）の実践方法を考える</li> <li>②「国語表現」における教育目標と実践方法を考える</li> <li>③「古典（古文・漢文）は必要であるか？」について考える</li> </ol>
キーワード	「新学習指導要領」、「古典」、「国語表現」、「A I」
受講者へのメッセージ	<p>学習指導要領の改訂、さらには大学入学共通テストの導入を目前にして、現場の先生がたは今後求められる国語教育の目的や、その教育方法について、どのようにお考えになっておられるでしょうか。本講座は、新学習指導要領を確認するところから始めて、この問題について考えていきたいと思います。</p>
対象免許種（校種）	教諭
主な受講対象者	中学校・高等学校（国語科）教諭